



高田地区キャラクター
「たかたん」

高田町内会だより

第 21 号
発行日:平成30年11月1日
発行者:高田町内会
会長 宮田 寿雄

もしも〇〇だったら？



高田町内会会長
宮田 寿雄

もしも町内会加入率が100%だったら？ 地域の一体感が出来て良い街が出来るだろうな。残念ながら現在の加入率は約70%です。

もしも町内会役員候補者が沢山いたら？ 改選期の役員選びが楽しいだろうな。

もしも防犯・防災・見守り活動が十分だったら？ 既に安心・安全な街が出来ているだろうな。

もしも皆さんが町内会長だったら？ 最優先に取り組む課題は何でしょうね。ここからはもしも？を現実にする為のご提案です。

具体的には下記のような「双方向交信」で情報交換が出来ると良いですね。会員⇄班長⇄担当理事ルートで如何でしょう？

毎月5日の理事会又は部長会等で検討出来ます。班長さんは大変ですが媒介役をお願い致します。“我もし会長成りせば”のテーマで会員の皆様の声をお聞かせ下さい。どうぞ宜しくお願い致します。

今年もアジサイを植樹

～高小児童が西公園に～

昨年9月、高田町内会創立70周年記念事業の一環として、高田西公園と高田第四公園にアジサイを植樹しました。その後、順調に



29年9月に植樹

育ち、今年のシーズンには、いくつかの株に花をつけ、見る人を楽しませてくれました。

また、昨年高田小学校3年生だった児童たちが、授業の取り組みとしてアジサイの鉢植えをしました。

苗はすくすく育っています。

高田町内会では、今年 高田小学校と話し合い、4年生になった児童全員で高田西公園に植樹することになりました。

植樹は、11月5日(月)、雨天11月26日(月)です。

児童たちが植えた株は競い合い、近い将来、みごとに咲き誇ることでしょう。



30年10月現在の状況



植え付け準備作業



植え付ける苗

放水の勢い負けぬ消火訓練

～白坂台住宅部会～

日時 平成30年9月17日 10:00～11:30
場所 高田東2丁目26番地と27番地の間の道路
内容 スタンドパイプ式初期消火器具の設置・放水・復旧
指導協力 横浜市港北消防署 高田消防出張所 坂詰所長、他4名
高田消防団 相沢様他4名
高田町内会 篠原安全部長、鈴木広報担当
その他 1名

会員参加数 34名

概要

消火器具を平成28年12月に購入後の第2回目の訓練です。

第1回 平成29年1月29日

第2回 平成29年9月17日 雨天中止



スタンドパイプ式初期消火器



消火栓のフタを開く

訓練開始にあたり、坂詰所長より器具及びマンホール設備の説明後、消防署員によるマンホールの開放と器具設置の実技を指導いただき、2組の会員(男性)による訓練を行った。

また、大半の会員が消防署員の補助を受け、ホースの先端(ツツサキ)を保持し放水の体験をした。

参加の男性は少なかったが、マンホール開放・器具設置は何とか習得するもさらなる慣れが必要と思われる。

参加会員は年配の方(女性)が多く「マンホールも器具の設置も無理」との意見が多かった。



消火栓マンホール

ここ白坂台住宅も高齢化の波で、3割が70歳以上と思われる。

いざ火災発生に初期消火の対応が出来ない状況は避けるべく、女性にも協力いただく方策を検討する時期に来ている。

特に昼間は現役世代のお父さんたちの不在が多い。

まずは子育て世代の家庭のお父さんお母さんの訓練参加を促し、家庭単位での認識と60歳以上の元気な方の協力を得ていくことが必要と痛感した。

また、事前に認識していたが、車両の通行規制は出来なかった為、数回の中断を余儀なくされた。

次回の訓練は、来年2月10日(日)、予備日2月17日(日)

白坂台住宅部会長 鈴木 邦佳



消防署員の補助を受け放水体験



参加者のほとんどが放水体験

屋根が飛ばされた高田研修所

～台風 24 号による被害～



屋根が飛ばされた高田研修所(北側)



屋根が飛ばされた高田研修所(南側)



飛ばされた屋根の残骸

日本各地で記録的な暴風となった台風24号。10月1日、横浜市の最大瞬間風速は毎秒38・5メートルでした。横浜市内で1棟が半壊したほか、フェンスが倒れたり、家屋の一部が破損したとの報道がありました。

高田町内会で集会等に使用している「高田研修所」は、南西が開けた高台にあります。研修所はこの風をまともに受け、屋根が半分、雨戸も吹き飛ばされました。

朝になってご近所からの連絡で高田町内会理事が集合してみると、連絡をくれたご近所の会社で粗方片づけてくられていました。

研修所には10月6日に配布する回覧物と7日に行う運動会の景品などがあり心配されましたが、雨が小降りになってから屋根が剥がれたようです。建物内部は雨漏りによる被害がほとんどなかったのが不幸中の幸いでした。

1日は理事による内部清掃と整理を行い、業者による屋根のブルーシート取り付けが行われた状態ですが、内部は通常通り使えます。また一般貸し出しは通常通り行っています。5日夜の理事会でも使用しました。

今後、屋根と天井の修理を依頼します。費用はこれまで積み立ててきた研修所建替積立金

を充当する予定です。

高田地区でこの他の被害として、高田天満宮では鳥居から階段を登った所にある桜の木が根元から倒れたり、太い枝が折れたりしていました。

また高田西公園でも桜の枝が折れていました。



根本から倒された天満宮の桜



枝が折れた西公園の桜

災害に対する自助・共助 —アドバイザーから学ぶ—

高田町内会も高齢化が進み、3割近くが高齢者世帯となつて、町内会活動に支障の出ている地区もあるように見受けられます。

世帯数は3380と規模も大きく、高田東と高田西のそれぞれの防災拠点がどちらも高台にあります。地震発災時に高齢者の方が避難するには困難を要します。自宅待機される事を考え、自分たちの町に合った自助・共助のあり方を理事全員で考え実行する講習会を開き学ぶ事に成りました。

横浜市では30年以内に震度6以上の地震発生確率は80%



以上と言われているので、防災・減災の危機管理を進めています。

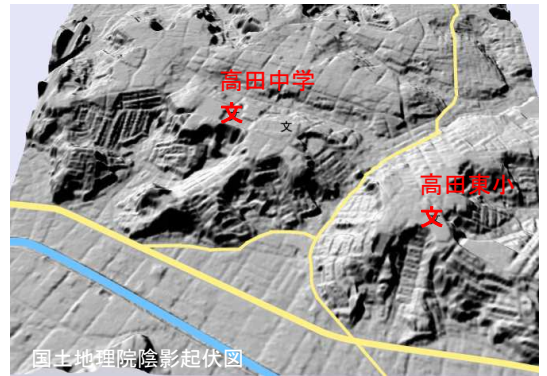
発災時直後は公助(行政)の支援は考えられないので、皆様自身が普段からの備え(3日分の飲料水や食料、生活用品の備蓄、隣近所の助け合い)という自助・共助が一番大事な事と思われます。

そこで、理事が協力して会員の皆様方の普段からの備えを徹底推進するにはどうしたら良いのかを考える必要を感じています。

他にも、若い世帯の方が町内会活動に参加出来やすくするにはどうしたら良いのか等、アドバイザーから教えていただく案件が沢山あります。

11月11日にアドバイザーの出張講習会を高田研修所で行い、わが町に合った防災・減災の手法を学び実行して行きたいと考えます。

安全部長 篠原 力



高台にある防災拠点



高田って どんどころ? -17-



バス停「倉田屋前」とその西側

都筑区に接する斜面に添って、長円寺住宅や西原住宅等、閑静な住宅地となっています。

山本記念病院(都筑区)前の道路をはさんで高田地区になります。この辺は分水嶺になっていて、ここを源流に「松の川緑道」を流れ日吉を経て矢上川に合流します。もう一つは、塩谷寺付近を源流にして早淵川に注いでいます。

都筑区に接する西端

早淵川が流れる地域は平地で、昭和30年頃は、一面水田でした。その後、工場用地や宅地に開発されました。昭和50年頃は、バス停「倉田屋前」から「下根住宅前」間で、ちょっとした商店街が形成されていました。バス通りである日吉元石川線の下は地下鉄が走っています。

平地から都筑区に



長円寺住宅や西原住宅の向こうに丹沢と富士山を望む

編集後記 「高田町内会だより」は、高田町内での事柄や話題を的確に会員の皆様へお知らせする使命を持っています。今年度から広報の一員に加えて頂きましたが、何分にも浅学菲才。先輩委員の足を引っ張るばかりです。今後少しずつ愛される記事作りに精進したいと思います。(S.K)